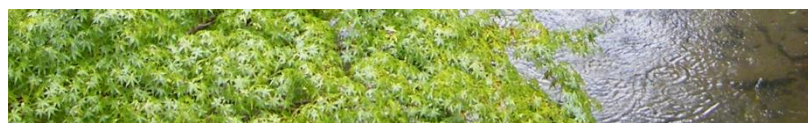


福岡県 地球温暖化防止 活動推進センター 事業報告書 2023

2024 年 3 月

一般財団法人 九州環境管理協会

はじめに



センターの役割



一般財団法人九州環境管理協会は、福岡県知事より「福岡県地球温暖化防止活動推進センター（以下、「県センター」）」の指定を受け、今日まで福岡県内の地球温暖化防止対策に関する普及啓発の拠点として役割を担ってきました。今年度は、第5期1年目となります。

県センターでは、基本的な活動として福岡県の地球温暖化対策に関する①情報提供、②広報・啓発、③活動支援、④照会・相談、⑤調査・研究の5項目を軸に事業展開を行っています。

本報告書は、県センターが実施した2023年度事業の内容及び実績についてとりまとめたものです。

目次

はじめに

■ 福岡県補助事業

1 地球温暖化対策に関する啓発・広報活動

1-1 県民への情報発信	1
--------------	---

2 推進員、地域のNPO等活動支援

2-1 啓発資材の貸出	3
2-2 推進員地域連絡会	3
2-3 講師派遣	5

3 住民等からの照会・相談対応

3-1 照会・相談	7
-----------	---

4 NPO、企業、行政のネットワーク化

4-1 NPO・団体との連携	7
4-2 協議会等への参加	7

5 温室効果ガス排出実態調査・分析

5-1 温室効果ガス排出量	8
5-2 エネルギー消費量	8

■ 福岡県委託事業

6 エコファミリー応援事業

6-1 エコファミリー募集	9
6-2 削減効果分析	10

7 省エネルギー相談事業

7-1 事業の概要	11
7-2 実績及び効果	11

■ 環境省補助事業

8 地域における地球温暖化防止活動促進事業

8-1 大学との連携による脱炭素社会普及啓発	12
8-2 サイエンスカフェの開催	12
8-3 脱炭素啓発活動	13
8-4 事業者への広報・啓発	14
8-5 推進員等の支援	15

おわりに

福岡県補助事業

1 地球温暖化対策に関する啓発・広報活動

1-1 県民への情報発信

県センターでは、WEB（ふくおかエコライフ応援サイト）、紙面（福岡県環境家計簿、減CO2クラブ）等を通して、地球温暖化に関する最新情報、推進員活動の様子等について情報発信を行っています。

ふくおかエコライフ応援サイトの更新

ふくおかエコライフ応援サイトでは、エコふあみアプリの周知やイベント等の情報発信を行ったほか、今年度の推進員の活動報告を公開しました。

サイト総カウント数： **1,080,771 回**

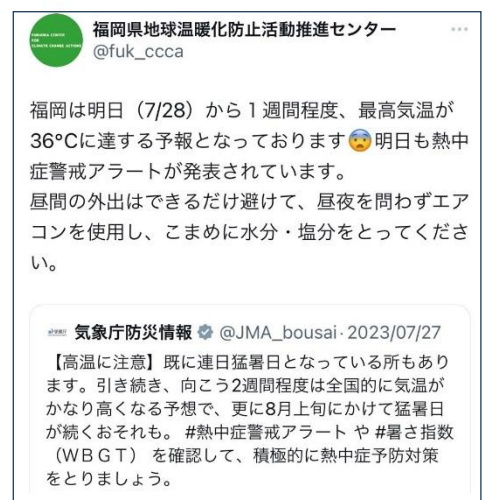
期間：2023年3月～2024年2月



SNSでの情報発信

県センターではHPに加えて、X（旧 Twitter）による情報発信を行っています。

Xでは、県センターが行うセミナーやエコふあみアプリの周知、国立環境研究所・気象庁・環境省などが発表する研究成果などさまざまな情報を随時発信しています。



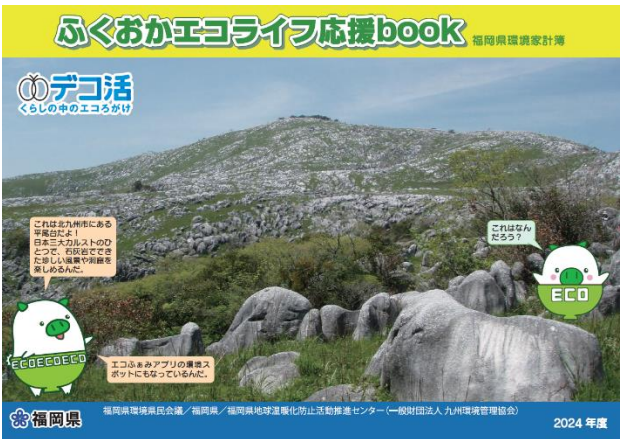
福岡県補助事業

1 地球温暖化対策に関する啓発・広報活動

ふくおかエコライフ応援 book（福岡県環境家計簿）の発行

県センターでは、家庭でのエコ活動を促進するツールとして、福岡県環境家計簿を作成しています。カレンダー形式でその月に実践すると効果的なエコ活動を記載しており、わかりやすいと好評です。

2024 年度版はテーマを「デコ活 ～くらしの中のエコろがけ～」とし、暮らしが豊かになり、脱炭素などに貢献する具体的な取組の「デコ活アクション」を挙げて、県民の皆様の行動変容、ライフスタイルを見直すきっかけづくりとしています。



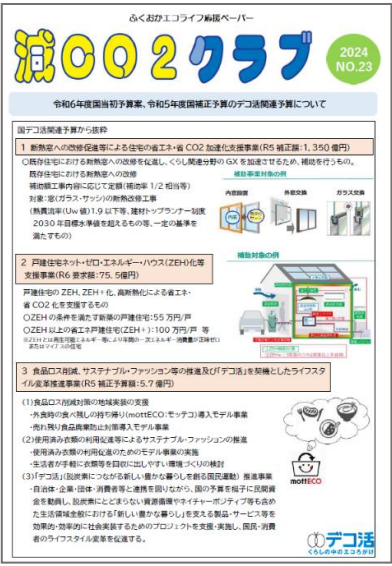
情報誌「減 CO2 クラブ」の作成・公開

県センターでは、地球温暖化等に関する最新情報やセンター活動等を掲載した情報誌「減 CO2 クラブ」を9月及び1月に作成・公開をしました。9月は、「デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）」、「気候変動について考える」など、1月は、「令和6年度国当初予算案、令和5年度国補正予算のデコ活関連予算について」、「家の断熱について考えてみよう」、「地球温暖化防止活動推進員の活動」などについて掲載しました。

ふくおかエコ事業所応援 book

県センターでは、エコ事業所を対象とした事業者支援のための冊子を作成しています。

この「ふくおかエコ事業所応援 book」は毎年更新しており、多くの事業者の方に見てもらうことで、事業所のより一層の省エネを促進し、脱炭素経営を始めるきっかけづくりとしています。



福岡県補助事業

2 推進員、地域 NPO 等活動支援

2-1 啓発資料の貸出

県センターでは、推進員や NPO のほか、一般県民を対象に地球温暖化に関する普及啓発ができる資料を貸出しています。

2023 年度は、エコトン着ぐるみを 25 回貸出しました。また、DVD (8 回)、パネル (40 回)、紙芝居・教材等 (15 回)、イベント資料 (50 回)、体験学習資料 (27 回) を合わせて 140 回貸出しました。

資料名	タイトル	件数
DVD	気候変動への挑戦、ミライアイズ 他	8
パネル	気候変動、2100年の福岡 他	40
紙芝居・教材等	パネルシアター、紙芝居「地球温暖化ってなあに」 他	15
イベント資料	エコトンパネル、ガラポン抽選器 他	50
体験学習資料	3種比較発電機、スマートムーブ体験模型 他	27
合計		140

2-2 推進員地域連絡会

■ 推進員地域連絡会の開催

県内 6 地域において、推進員地域連絡会が毎年度 2～3 回開催されています。

連絡会では地域イベントの計画や実績報告、推進員相互の情報交換などが行われています。

■ 推進員の委嘱

2023 年 4 月 25 日、福岡県庁において福岡県地球温暖化防止活動推進員の委嘱状交付式が行われました。

推進員数：93 名

任期：令和 7 年 3 月 31 日

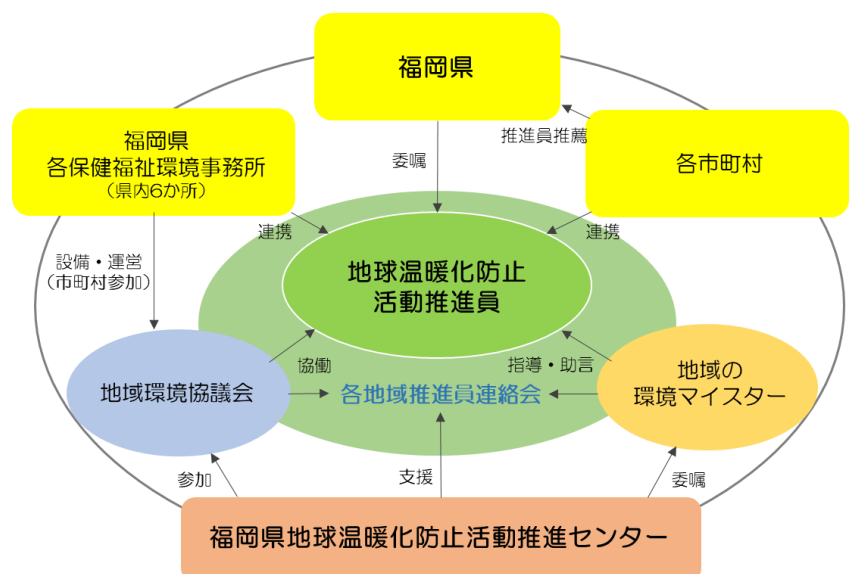
R5.4.21 現在

地域名	推進員数
北九州・京築	22 名
福岡・筑紫	13 名
宗像・遠賀	15 名
筑豊	24 名
久留米・北筑後	10 名
大牟田・南筑後	9 名



推進員の支援体制

県センターでは、福岡県保健福祉環境事務所が所管する 6 地域をベースに、行政と推進員らの連携強化を図るための推進員地域連絡会を設置し、推進員活動を支援しています。



福岡県補助事業では、推進員が地域活動を行う予算として計 150 万円 (1 地域 25 万円) を計上しています。この予算は、主に推進員地域連絡会の開催、地域イベントでのブース出展、地域で行う研修会の開催などの費用等に使われています。

福岡県補助事業

2 推進員、地域 NPO 等活動支援

地域連携エコ活動支援金の運用

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、令和 5 年 5 月から季節性インフルエンザなどと同じ 5 類に移行し、コロナ禍で自粛されていた地域イベントを再開する自治体も増え始めました。推進員の方々は市町村と協働した活動計画などを提出し、イベントでのブース出展、エコふぁみアプリインストール会など普及啓発活動を行いました。

■ 地域での普及啓発活動

糸島市民祭り

開催日時：10 月 1 日（日）9:00～15:30

開催場所：志摩中央公園プロムナード

概要：環境パネルの展示やパネルクイズによる温暖化防止啓発、エコふぁみアプリの紹介や登録促進を行いました。

KOGA 環境ひろば

開催日時：10 月 14 日（土）10:00～15:00

開催場所：グリーンパーク古賀 芝生広場

概要：「デコ活」をパネルにより説明し、併せてデコ活宣言を呼びかけました。
気候変動パネルによる家庭での省エネの重要性の周知や、エコふぁみアプリのインストール方法の説明、うちエコWEB診断サービスの実施などにより、多くの来場者に CO₂ 排出量削減のための具体的取組について理解促進を図りました。

■ 研修会

南筑後推進員研修会

開催日時：10 月 5 日（木）14:00～16:00

開催場所：大木町くるるん環境学習室

概要：大木町が実施している環境学習の紹介や地域が元気になる再エネについての講演や環境省からデコ活の説明、国の施策の方向性や補助金などについて説明を受けました。

北筑後推進員研修会

開催日時：2 月 20 日（火）13:30～15:30

開催場所：筑前町めくばーる学習館

概要：環境省からデコ活、国の施策や予算などの説明を受け、今後の推進員活動にどう活かしていくかについて検討しました。



研修会の様子

推進員活動件数：43 回
啓発人数：7,968 人
CO₂ みなし削減量：1,099.6
t-CO₂/年

■ 年間換算みなし CO₂ 削減量の算出方法

人数×0.138t/人・年×1.0（展示・講演等）＝●●●t-CO₂/年

※出典：一般社団法人地球温暖化防止全国ネット

「平成 28 年度地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業委託業務報告書」

※以降、注釈がないものについては、この方法で算出しています

福岡県補助事業

2 推進員、地域 NPO 等活動支援

2-3 講師派遣

エコアドバイザー派遣

県センターでは、幼稚園・保育所等の園児から高齢者までの幅広い年代を対象に、講師を派遣して地球温暖化防止等について啓発しています。

■エコアドバイザー派遣

主に一般県民や、小学生以下の児童を対象とした講師派遣事業です。

市民を対象としたグリーンカーテン講座、気候変動や温暖化に関する講座のほか、小学生や地域住民を対象とした生物多様性や生物への温暖化の影響に関する講座、SDGs に関する講座等、内容は多岐に渡ります。

エコアドバイザー派遣による講座の開催

2023 度は、一般県民、小学生を対象とした講座を 41 回実施しました（園児向けエコ出前教室は含まず）。

今年度の講座は希望するテーマとして、地球温暖化や生態系への影響に関連する内容が多い傾向にありました。



園児向けエコ出前教室の実施

園児向け出前教室はエコアドバイザー派遣の一つで、幼稚園・保育所等の園児、園児の保護者にエコ活動を普及啓発することを目的としています。

この教室は、水、食、ごみ等を通じて環境や地球温暖化について学習し、子どもたち自身ができることについて学ぶものです。教室終了後に子ども環境家計簿食育編を渡し、家に持ち帰って子どもたちが保護者と話し合い、一緒にエコ活動を実践してもらえるようにしています。

本教室は大変好評で、毎年多くの申し込みがあり、2023 年度は 64 箇所の園で教室を実施しました。



講座回数：105 回（計画 100 回）

啓発人数：5,396 人

小学校等の派遣による CO₂ みなし削減量：

啓発人数：2,128 人 293.7 t-CO₂/年

幼稚園・保育所等の派遣による CO₂ みなし削減量：

啓発人数：3,268 人 451.0 t-CO₂/年

福岡県補助事業

2 推進員、地域 NPO 等活動支援

環境マイスター派遣

■環境マイスター派遣

主に企業、中学校以上の教育機関、教職員、自治体等を対象とした講師派遣事業です。

EA21 取得希望事業者への支援、教職員を対象とした環境教育に関する講演、地域の環境教育・環境行政に携わる人々を対象とした講演等を行っています。

環境マイスターは、既定の有資格者（技術士（環境部門）、エネルギー管理士、エコアクション21審査員、環境カウンセラー等）、もしくは同等の知識を有していると認められる方で、令和5年4月時点での登録者は39名です。

2023年度は、企業、団体、大学、高校、中学校での授業、自治体などに環境マイスターを派遣しました。

講座回数： **12** 回（計画 25 回）

啓発人数： **1,083** 人

CO₂ みなし削減量： **149.5**t-CO₂/年

うちエコ診断士派遣

■うちエコ診断制度

うちエコ診断では、資格を持ったうちエコ診断士が受診家庭とのコミュニケーションを通じて、その家庭に合わせたオーダーメイドのエネルギー対策・地球温暖化対策を提案しています。

2023年度は計画50世帯に対し、56世帯でうちエコ診断を実施しました。また、県事業以外に、北九州市立大学の依頼で北九州市小倉北区の城野ゼロ・カーボン先進街区の住民26世帯を対象にうちエコ診断を実施しました。

2023年度に実施したうちエコ診断では、48世帯が事後調査票に回答しました。この事後調査票から推定されるCO₂削減量は1世帯当たり0.9t-CO₂/年となります。

受診者数： **56** 世帯

CO₂ みなし削減量※：

45.4t-CO₂/年

※CO₂ みなし削減量は、うちエコ診断事後調査票に回答した48人から算定

受診者の市町村別実施件数

No	市町村名	実施形態	件数
1	福岡市	受診者自宅、会場、Zoom	41
2	古賀市	会場	6
3	小竹町	会場	5
4	北九州市	Zoom	1
5	小郡市	会場	1
6	新宮町	Zoom	1
7	須恵町	会場	1
計			56

No	市町村名	実施形態	件数
1	北九州市	会場、Zoom	26
計			26

メルマガによる情報発信

県センターでは、推進員のスキルアップや最新情報の取得を目的として、推進員と環境マイスター、エコアドバイザーに情報発信を月1～7件程度（計48件）行いました。主な内容は、研修やフォーラムの開催案内、省庁や研究機関による最新研究、エコふぁみアプリなどについてです。

福岡県補助事業

3 住民等からの照会・相談対応

4 NPO、企業、行政のネットワーク化

3-1 照会・相談

県センターでは、住民等からの地球温暖化等に関する照会、相談等について随時受け付けています。
2023年度は、約700件の相談等がありました。

4-1 NPO・団体との連携

県センターでは、NPO、企業、団体等からの依頼を受けて、講演やイベント出展等を行っています。
2023年度は団体のイベント開催に協力しました。

4-2 協議会等への参加

県センターは、県内で開催される地球温暖化等に関する協議会に参加しました。
今後も多くの機関と協働して、地球温暖化防止に関する活動を活発化させていきます。

センターが参画した協議会等一覧（令和5年度）

	開催日	名 称	支援内容	備 考
1	4月20日	令和5年度福岡市地球温暖化対策市民協議会総会	幹事会委員	対面会議
2	5月17日	令和5年度福岡県省エネルギー推進会議	オブザーバー	対面会議
3	6月14日	福岡市地球温暖化対策市民協議会臨時総会	幹事会委員	書面
4	6月20日	九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議	構成員	書面
5	6月27日	第1回志免町地球温暖化対策実行計画協議会	協議会委員	対面会議
6	8月25日	第1回久留米市地球温暖化対策協議会	協議会委員	対面会議
7	8月31日	福岡市環境教育・学習計画推進協議会	協議会委員	対面会議
8	9月1日	福岡市地球温暖化対策実行計画協議会	協議会委員	対面会議
9	10月17日	福岡県気候変動適応推進協議会	構成員	対面会議
10	10月31日	第2回志免町地球温暖化対策実行計画協議会	協議会委員	対面会議
11	12月6日	第20回九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議	構成員	オンライン
12	11月16日	令和5年度エコ事業所表彰審査会	審査会委員	対面会議
13	1月17日	第2回久留米市地球温暖化対策協議会	協議会委員	対面会議
14	1月22日	福岡市地球温暖化対策市民協議会臨時総会	協議会委員	書面
15	2月22日	第3回志免町地球温暖化対策実行計画協議会	協議会委員	対面会議
16	3月4日	第11回気候変動適応九州・沖縄広域協議会	その他関係者	ハイブリッド

5-1 温室効果ガス排出量

県センターでは、特定事業者からのアンケート回答、国や県等の統計データをもとに、2021年度福岡県内の温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）を算定しました。

- ・2021年度の温室効果ガス総排出量は4,240万トン。
- ・基準年度（2013年度）と比べて31.5%減少、前年度と比べて3.2%減少。
- ・エネルギー転換部門、工業プロセス分野、代替フロン等4ガスが前年度と比べて、代替フロン等4ガスが基準年度に比べて増加。
- ・温室効果ガス総排出量が前年度比で減少した主な要因として、二酸化炭素排出係数が前年度に比べて低くなったこと、自動車の車両本体の燃費改善が進んだこと等が考えられます。

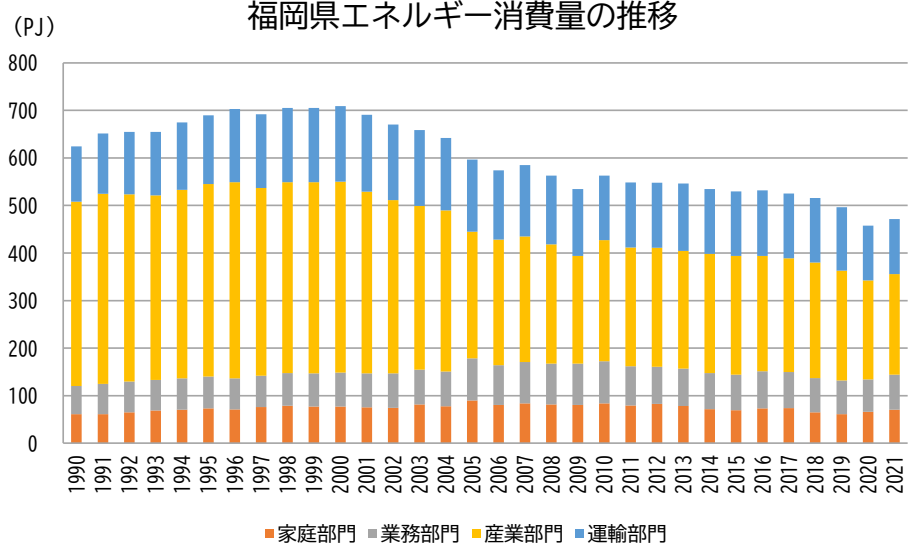
福岡県の温室効果ガス総排出量総括表

温室効果ガス排出区分	基準年度 2013年度 (万トンCO ₂)	前年度 2020年度 (万トンCO ₂)	増減率 対前年度 (%)	現況年度 2021年度 (万トンCO ₂)	増減率 対基準年度 (%)	(参考) 全国の増減率 対基準年度 (%)
合計	6,186	4,380	-3.2	4,240	-31.5	-16.9
二酸化炭素	6,100	4,304	-3.2	4,167	-31.7	-19.2
エネルギー起源	5,402	3,676	-3.9	3,531	-34.6	-20.0
エネルギー転換部門 (発電所等)	65	46	1.0	46	-28.3	-15.7
家庭部門	1,009	556	-7.2	515	-48.9	-24.8
業務部門 (商業・サービス・事業所等)	1,113	616	-8.5	564	-49.4	-19.8
産業部門 (製造業等)	2,247	1,671	-3.1	1,620	-27.9	-19.5
運輸部門 (自動車等)	969	787	-0.2	785	-18.9	-17.6
非エネルギー起源	698	628	1.3	636	-8.8	-7.7
工業プロセス分野 (セメント製造等)	613	546	1.7	555	-9.4	-11.4
廃棄物分野 (一廃・産廃等)	85	82	-1.6	81	-4.0	-0.1
メタン	36	32	-1.4	32	-11.5	-6.1
一酸化二窒素	44	37	-10.2	33	-24.0	-11.1
代替フロン等4ガス (HFC、PFC、SF ₆ 、NF ₃)	7	7	9.7	8	10.8	51.2

5-2 エネルギー消費量

- ・2021年度のエネルギー消費量は471PJ（ペタジュール）。
- ・基準年度（2013年度）と比べて13.7%減少、前年度より2.9%増加。
- ・4部門とも基準年度と比べて減少、前年度と比べて増加。
- ・2021年度の部門別消費量構成は、基準年度と概ね同程度。

福岡県エネルギー消費量の推移



福岡県委託事業

6 エコファミリー応援事業

福岡県では、家庭におけるエネルギー使用状況の見える化、使用方法等の見直しを促すことによって、エネルギーの有効利用と CO₂ 排出量の削減を図ることを目的に、「エコファミリー応援事業」を実施しています。

県センターは、イベント等でのエコふぁみアプリの紹介を通じてエコファミリーの募集を行ったほか、エコファミリーからの報告データ入力、取組結果を用いた事業効果分析、エコふぁみユーザーを対象としたアンケート調査分析等を行いました。

6-1 エコファミリー募集

エコふぁみを周知する啓発チラシやポスターを作成し、県内各地で街頭啓発活動を行いました。また X（旧 Twitter）でハッシュタグ#エコふぁみとつけてつぶやくなどして、SNS ユーザーに周知を行いました。



SNS 広告の掲載

スマホユーザーに直接エコふぁみアプリを周知することを目的として、スマホを使って Facebook（SNS）を利用している県民を対象に、広告を掲出しました。

インプレッション：
418,775 回

※広告表示数

リンククリック：
2,539 回

※アプリページに
遷移した回数



商業施設等での街頭啓発

多くの人が集まる道の駅や市町村主催の環境イベント、講習会等で、エコふぁみアプリを周知する街頭啓発を計 10 回実施しました。

11/22 に道の駅むなかたで実施した街頭啓発では、来館者にエコトンと一緒にアプリのダウンロードを呼びかけました。また、当日は環境省のすすめる「デコ活」を周知するパネルも展示し、エコふぁみを通じて脱炭素ライフスタイルへの転換を呼びかけました。



街頭啓発：**10 回**

参加者数：**2,381 人**



←アプリをダウンロードした方に、カーボンオフセット（0.5 kg）付きティッシュを景品としてお渡ししました。

6-2 削減効果分析

県センターでは、エコファミリーからの下半期、上半期ごとの取組報告データを入力し、報告データを用い、前年同期比較による節電効果分析、CO₂削減効果分析を行いました。

■ ステージ別報告内容

- ・第1ステージ：電気使用量
- ・第2ステージ：電気・ガス・水道使用量
- ・第3ステージ：電気・ガス・水道・車燃料・灯油使用量、燃えるゴミ排出量

■ 半年分ごとの取組

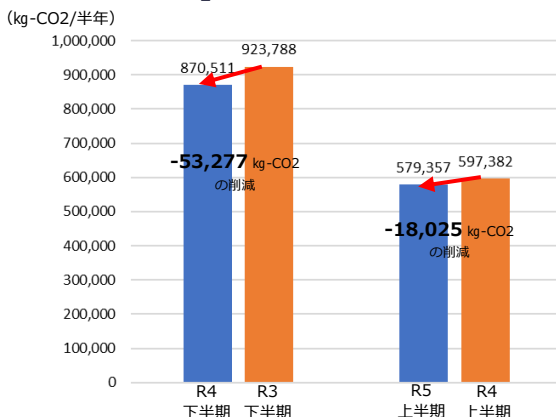
ステージごとに、半年分の電気・水・ガス等のエネルギー使用量、ガソリン・軽油・灯油購入量、可燃ごみの廃棄量等の報告を入力。

- 令和4年度下半期報告数：745件
(うち、有効データ：455世帯)
- 令和5年度上半期報告数：617件
(うち、有効データ：403世帯)

■ 分析方法

- ・節電効果分析
世帯人員別・住居形態別(戸建、集合)電気使用量からCO₂排出量の算定、前年度比で節電効果を分析
- ・属性別CO₂削減効果分析
世帯人員別各エネルギー使用量の集計結果より、エネルギー種別CO₂排出量の算定、前年度比で属性別CO₂削減効果を分析
- ・ステージ別CO₂削減効果分析
ステージ別エネルギー使用量からCO₂排出量の算定、前年度比でステージ別CO₂削減効果を分析

CO₂排出削減量の前年同期比較



令和4年度下半期 (令和4年10月～令和5年3月)

- ・節電効果分析では、電気使用量が前年同期に比べて約7.9万kWh減少、それに伴いCO₂排出量が約41.9t-CO₂減少しました(排出係数は事業効果を比較しやすいように、毎回0.53で統一して算定)。
- ・属性別CO₂削減効果分析では、当該期間の電気・ガス・水道・ガソリン・灯油・ごみ排出量などの報告データから、CO₂排出量を算定します。当該期間は前年同期と比べて全体でCO₂排出量が53.2t-CO₂の減少、対前年増減率は-5.8%でした。

電力削減量：79,018 kWh/半年

CO₂削減量：53,277 kg-CO₂/半年

令和5年度上半期 (令和5年4月～9月)

- ・節電効果分析では、電気使用量が前年同期に比べて約1.8万kWh減少、それに伴いCO₂排出量が約9.9t-CO₂減少しました(排出係数は0.53で算定)。
- ・属性別CO₂削減効果分析では、当該期間は前年同期と比べて全体でCO₂排出量を18.0t-CO₂の減少、対前年増減率は-3.0%でした。

電力削減量：18,657 kWh/半年

CO₂削減量：18,025 kg-CO₂/半年

気象条件

家庭のエネルギー使用に関係があると考えられる、当該期間の平均気温は以下の通りです。

- ・令和4年度下半期：12.2℃※ (前年度下半期：11.7℃※)
→平均気温が+0.5℃で、前年度に比べて暖かかった
- ・令和5年度上半期：24.5℃※ (前年度上半期：24.4℃※)
→平均気温が+0.1℃で、前年度とほとんど変わらなかった

※気象庁HPより温防センターが算定

結果

- ・令和4年10月～令和5年9月までの1年間を通じて、電気使用量、CO₂排出量ともに対前年比で削減となりました。
- ・冬期は、前年と比べてやや暖かくなったことによる暖房・給湯需要の減少が主な要因と考えられます。
- ・一方、夏期は期間平均気温が前年とほとんど変わらなかったにも関わらず、削減となりました。省エネ啓発効果がみられると考えられます。

福岡県委託事業

7 省エネルギー相談事業

福岡県では、事業者部門からの温室効果ガス排出量を削減することを目的に、現有設備の運用改善や更新などを検討されている県内の事業所を対象に、省エネに関するアドバイスを無料で行う「省エネルギー相談事業」を実施しています。

県センターでは、申込があった事業所に専門家を派遣し、専門家の相談回答書を点検、交付するほか、事業効果を確認するためのアンケート調査等を行っています。

7-1 事業の概要

■対象

福岡県内の事業所：99 社

■内容

専門家より、事業者に対し設備の運用改善方法・省エネ型設備への更新による経済効果等の助言、助成制度の情報提供等各種支援を無料で行いました。

■事業者のメリット

- ・コスト削減
- ・業務改善
- ・人材育成
- ・地球温暖化防止への貢献

事業フロー

申込

相談申込書を下記窓口にメールか FAX で送信

窓口から受付および相談内容の確認連絡

現地相談

現地相談を行う場合、相談日程を調整

専門家による 2～3 時間の現地相談の上、省エネ診断を実施

回答

診断結果に基づき、運用面や投資面に関する回答書を相談者に交付

回答後も追加的な問合せや実際の設備更新に当たっての相談などをフォロー

7-2 実績及び効果

電話・メールでの相談：22 件

現地相談：99 件

運用改善・設備更新による省エネ効果

電力削減量：

1,141 千 kWh/年

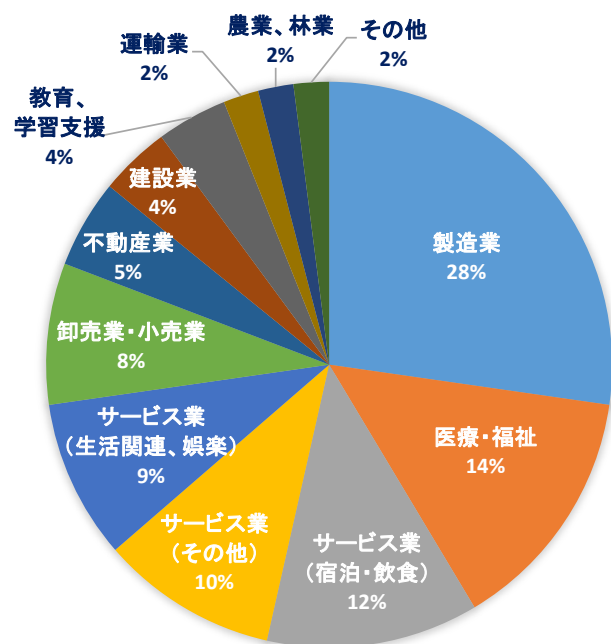
CO₂ 削減量※：

566 t-CO₂/年

※CO₂削減量＝電力削減量（kWh）×0.475 kg-CO₂/kWh
（2022 年度調整後排出係数）

※CO₂削減量には電力以外の灯油、ガスの削減量を含む

現地相談事業所の業種内訳



環境省補助事業

8 地域における地球温暖化防止活動促進事業

8-3 脱炭素啓発活動

環境省が推進する「デコ活～くらしの中のエコがけ～」を分かりやすく伝えるチラシ・パネルを作成、イベント等で配布・説明し、脱炭素ライフスタイルへの転換を呼びかけました。



作成したパネルはイベント等で掲示しました。

デコ活啓発チラシの作成・配布

チラシ表面には、デコ活の具体例として、サステナブルファッションの実践や食ロスの削減、公共交通機関のお得な切符などを紹介しており、裏面には、「毎月の支出を減らそう」というテーマで給湯の省エネ、家電の買い替えについて掲載しました。

また、エコふぁみアプリのお知らせを通じて本チラシを紹介し、より多くの方にデコ活について知ってもらいました。



チラシ表紙面。QRコードなどですぐに情報にアクセスできるようにしました。

コラム

デコ活をすすめていきます

2020年10月に政府が宣言した「2050年カーボンニュートラル」の実現及び2030年度削減目標(GHG排出量を2013年度比で46%削減)の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするために展開しているのが、「デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)」です。

これまで、「チーム・マイナス6%」、「Fun to Share」、「COOL CHOICE」など、国民の意識変革、行動変容を促す運動は行われてきましたが、「デコ活」は社会実装を目的としており、国や自治体が啓発するだけでなく、企業や消費者、団体らと連携して「デコ活応援団(新国民運動官民連携協議会)」を結成し、脱炭素につながる取組、製品、サービスなどを積極的に共有、発信し、連携した事業を行っているところがこれまでと異なります。推進員や地域センターも、「デコ活推進員」、「デコ活ローカル」という愛称がつけられました。今後は県民の行動変容、社会実装を促すべく、啓発活動を行っていきます。



脱炭素ライフスタイルへの転換は、豊かで快適で、時短になり、お得でもあるということを積極的に周知していきます。

環境省補助事業

8 地域における地球温暖化防止活動促進事業

大型商業施設でのデコ活啓発イベントの開催

イオンモール香椎浜にて、県民向けにデコ活を知って体験してもらいイベントを開催しました。

■イベント

開催日時：1月13日（土）
10：00～16：00
開催場所：イオンモール香椎浜
セントラルコート

来場者数：1,000人

CO₂みなし削減量：

138t-CO₂/年

イベントでは、「エシカル消費」「ごみ削減」「サステナブルファッション」「省エネ」をテーマに、県内で事業展開を行う事業者、NPO、行政に出展を依頼し各ブースでそれぞれ啓発を行ったほか、すべてのブースを回ってクイズを解くクイズラリーを実施しました。クイズラリーでは、環境に配慮されて作られた製品（コーヒーやお菓子など）が当たるくじ引きができることもあり、多くの方に参加していただきました。

- エシカル消費：環境マークの啓発、環境配慮型製品の展示（イオン九州㈱）、ワンヘルス認証を取得した農産物等の展示販売（福岡県農林水産部食の安全・地産地消課）
- ごみ削減：プラ製品の回収、リサイクルプラ製品を使ったワークショップ（福岡市環境局循環型社会推進課）、コンポストの展示販売（NPO 法人循環生活研究所）
- サステナブルファッション：0円服の交流会（㈱ワンピース）
- 省エネ：発電体験（九電ネクスト㈱）


国はデコ活の実践を通じて、脱炭素社会の実現につながるライフスタイルの転換を目指しています。そのため本イベントでは、デコ活とはどういったものかという掲示だけではなく、実際に環境配慮型商品を購入したり、燃えるゴミになる予定だったプラスチック製品を回収したり、服を無料交換をするなど、会場でデコ活を体験できるブースを設けました。

当日は、クイズラリー参加者400人、リサイクルプランターのお絵かき体験参加者63人、回収したプラスチック製品19.7kg、回収された洋服407枚、持ち帰られた洋服234枚など多くの方にデコ活を実践・体験していただくことができました。



⑤ れいそうこを10秒あけたとき、
れいそうこの中が、もとの温度
（おんど）にもどるのはいつ？

①約10分後
②約30分後



九電ネクスト㈱

↑クイズラリーのクイズは子どもたちにもわかりやすく、かつ啓発効果の高いものにしました。

福岡県ワンヘルス認証



↑福岡県ワンヘルス認証マークの入った農産物等を紹介・販売しました。

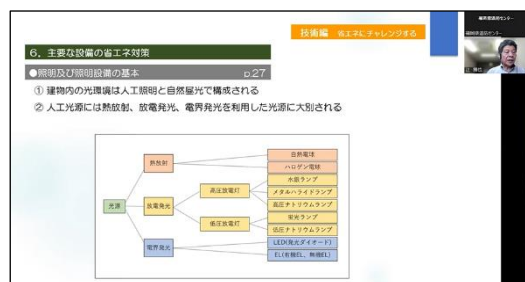
環境省補助事業

8 地域における地球温暖化防止活動促進事業

8-4 事業者への広報・啓発

令和4年度に作成した「中小規模事業所向け省エネ手引書」の解説動画（計7本）を作成・公開しました。

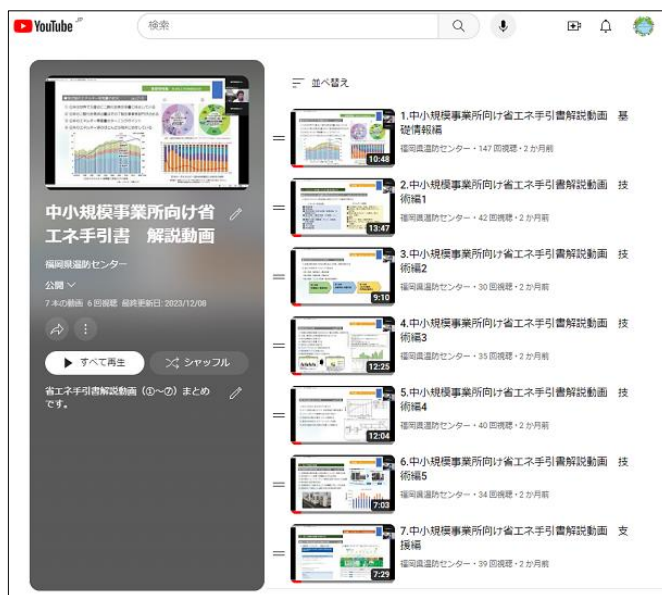
1. 基礎情報編～なぜ省エネが必要なのか～
2. 技術編 1 エネルギー使用量を把握する
3. 技術編 2 エネルギー削減計画を立てる
4. 技術編 3 省エネを実践する（照明・空調）
5. 技術編 4 省エネを実践する（空気圧縮機、ボイラ、受変電設備）
6. 技術編 5 省エネ効果の実例の紹介
7. 支援編 省エネをサポートする制度を活用する



省エネ手引書解説動画の作成・公開

本動画では、手引書の内容をよりわかりやすく、説明したものです。1つの動画を10分程度とし、隙間時間に見ることができるようにしました。また、連続で視聴される方用に、再生リストも作成しました。

本動画作成後は、福岡県や中小企業振興センター、中小企業団体中央会、推進員、環境マイスターなどのメルマガを通じて、動画の視聴・利用を呼びかけました。



中小規模事業所向け脱炭素化セミナーの開催

■セミナーの開催

●開催日時：2月9日（金）

14：00～15：30

開催方法：Webex

■次第

1. 「地域の中小企業等のカーボンニュートラルに向けて」
講師：藤徹氏（九州経済産業局）
2. 「今すぐできる企業の省エネ」
講師：高田敏春氏
（（一社）エネルギーマネジメント協会）
3. 「地球にやさしい会社づくりと社員教育」
講師：井上真一氏（㈱大匠建設）

事業所の脱炭素化に向けて、中小規模事業者を対象にオンラインセミナーを開催しました。

セミナーでは、九州経済産業局から事業所の脱炭素化が必要な理由、脱炭素につながる具体的な方策、補助金等の情報について、（一社）エネルギーマネジメント協会の高田氏から事業所の省エネの第一歩である省エネ診断について、現在、環境経営を実践している㈱大匠建設の井上氏から、環境経営を行うに至った経緯や具体的にどのような活動を行っているのかなどをお話いただきました。

参加者からは、「具体的な取組を聞くことができ、大変参考になった」、「J-クレジット、再エネ地産地消、支援施策など初めて聞く情報があり、勉強になった」などの声があり、事業所の脱炭素化に向けて具体的な取組に関する情報提供ができました。

参加者数：37人

CO₂みなし削減量：5.1t-CO₂/年

環境省補助事業

8 地域における地球温暖化防止活動促進事業

8-5 推進員等の支援

■ 推進員研修会

開催日時：9月21日（木）

14:00～16:00

開催方法：ハイブリッド式

（会場及びオンライン）

参加者数：66人



福岡県地球温暖化防止活動推進員研修会

はじめに、環境省九州地方環境事務所の寺西氏から「『デコ活』～くらしの中のエコロがけ～脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」と題し、現在国はどのような形で展開しているのか、デコ活の具体的な活動についてご紹介いただきました。

次に、福岡県地球温暖化防止活動推進センターの辻から、「脱炭素社会と推進員活動」と題し、脱炭素社会実現に向けた社会変容が必要であること、そしてその一翼を推進員が担っていくために、今後推進員活動をどのように行っていけばよいのかなどについてお話ししました。

最後に、福岡県環境部環境保全課より、現在県が重点的に行っている環境関連の施策、プラごみ・食ロス削減や防災ナビまもるくんなどを紹介し、推進員活動でも活用してほしいと呼びかけました。

第5期目の福岡県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受けました。 （2023年度～2027年度）

一般財団法人九州環境管理協会は、地球温暖化対策の推進に関する法律の施行に伴って、2004年に福岡県より福岡県地球温暖化防止活動推進センターに指定されて以来、19年間（第1期～第4期）にわたり継続して県センターを運営してまいりました。2023年に県から引き続き指定を受け、第5期目がスタートしました。

次のような基本方針で県センター第5期運営に臨んでいます。

1. 福岡県地球温暖化対策実行計画の目標達成に向けての活動
2. 気候変動対策に係る情報の収集・発信
3. 普及啓発及び効果的実践の支援
4. 次世代へのアプローチ

県センターの適正な運営と効果的な事業の実施を図るため、福岡県地球温暖化防止活動推進センター運営委員会を設置し、事業の検討等を行っています。



福岡県地球温暖化防止活動推進センター運営委員

2024年4月現在

氏名	所属	役職名
○ 浅野 直人	福岡大学	名誉教授
萩島 理	九州大学大学院総合理工学研究院	IFC部門教授
澤野慎太郎	九州電力株式会社 ビジネスソリューション統括本部 地域共生本部	環境計画グループ長
稲盛日出美	西部ガスホールディングス株式会社	カーボンニュートラル推進部長
高田 朋美	エフコープ生活協同組合 経営企画部	サステナブル・開発課長
久留百合子	リエゾンオフィス	代表
清水 佳香	特定非営利活動法人エコけん	理事長
安廣 光男	特定非営利活動法人九州環境カウンセラー協会	理事長
吉川 泰彰	福岡県 環境部	環境保全課長
岸川 正次	春日市協働推進部	環境課長
芹野真里子	福津市市民共働部	うみがめ課長
関岡 雄二	宮若市	環境保全課長
宇野 幹也	小郡市環境経済部	生活環境課長
石橋 信輝	八女市市民部	環境課長
竹田 浩輔	行橋市環境水道部	環境課長

○：運営委員会委員長

今後の課題

おわりに、2023 年度に県センターが実施した事業を振り返るとともに、今後の課題や展望について以下のとおり記します。

県民への情報発信、推進員への活動支援

県センターの基幹事業である地球温暖化防止に関わる情報提供、広報・啓発として、ふくおかエコライフ応援 book（福岡県環境家計簿）、情報誌「減 CO2 クラブ」、ホームページ、SNS などを用いて、気候変動対策に関わる情報、家庭でのエコ活動を促進する具体的取組、国の施策や政策の方向性、推進員活動など様々な情報を発信してきました。今後も、ふくおかエコライフ応援サイトの充実を図りながら、新たな情報発信に努めていきます。

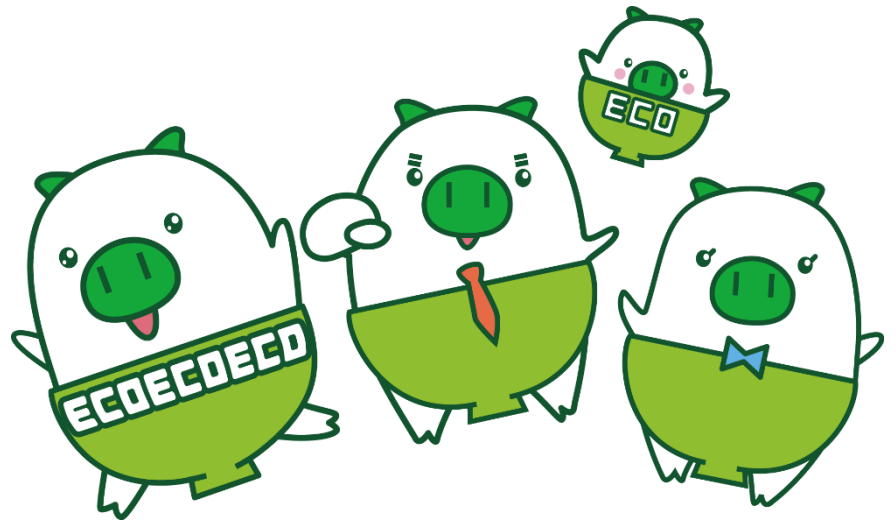
新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、5 月から季節性インフルエンザなどと同じ 5 類に移行し、コロナ禍で自粛されていた地域イベントを再開する自治体も増え始め、推進員の方々も市町村と協働した事業を再開するなど意欲的な取り組みが増えてきました。

県センターとしても、今後も啓発資材の貸し出し、推進員地域連絡会や推進員研修会の開催などにより推進員の活動支援を行い県民への情報発信を促進していきます。

デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）への対応

国はデコ活の推進を通じて、「新しい暮らし」とその先にある「脱炭素目標の達成」を実現するため、従来の普及啓発型から自治体・企業・団体と連携して消費者の行動変容を図る社会実装型の取組中心へとシフトしようとしています。

県センターとしても、自治体、推進員などと連携し、日常生活に関する温室効果ガスの排出量の削減等に資する生活様式等の改善を図る活動の周知啓発を進めていきます。



福岡県地球温暖化防止活動推進センター

(一般財団法人 九州環境管理協会内)

〒813-0004 福岡市東区松香台 1-10-1

☎ 092-674-2360 ✉ fccca@keea.or.jp

[https : //www.ecofukuoka.jp/center](https://www.ecofukuoka.jp/center)

